

～熱田区を支えるあつた人(びと) 高蔵学区保健環境委員～

みなさん、こんにちは。

今回は、公衆衛生活動の推進にご尽力頂いている**保健環境委員さん**の仕事のうち、
『資源の排出指導』についてレポートします。

実際に資源の排出指導を行っている保健環境委員さんへのインタビューを通して、
熱田区への熱い思いをご紹介します。

それでは、さっそく、**高蔵学区保健環境委員の竹内会長（写真左）と木村委員（写真右）にインタビュー**！！



『資源の排出指導』とは、どのようなお仕事ですか？

- ・ 資源の収集日の朝8時00分から8時30分までの間、学区内の資源ステーションに立ち、出された資源を確認し適切な分別を行っています。
- ・ 時期によって出される資源の量は大きく変わります。特に夏場は、飲み物が入っていたペットボトルや缶の量が多く、中には分別されず、飲み残しがある状態で大量に袋の中に入れて出されることがあり、それらを丁寧に分別します。



仕事をしていて、やりがいを感じるのはどんなときですか？

- ・ 分別が不十分なものや収集の対象とならないものが出ていた場合、正しい出し方に改めて頂きたいことをメッセージとして伝える必要があります。
- ・ しかし、誰がだされたか分からないため、例えば、出されていたものにお手紙をつけて、次回収集日までにその場に置いておく方法を取ることもあります。回収日を掲示してありますが、排出者に覚えて頂けるのを期待して根気強く続けています。その後、出し方が改善された場合は、とても嬉しく思います。
- ・ 学区内にある金山駅は、市内有数の広域交通の結節点であり、利便性が高いことから、居住や商業の面から選ばれる場所となっています。引っ越しをしてきたばかりの方や、お店を新規にオープンしたばかりの方は、ごみや資源の出し方が分からないと考えられますので、熱田環境事業所と連携してサポートしています。



皆様にメッセージをお願いします

- ・ 金山駅周辺の分別指導を続けて6年になりますが、始めた当初よりも、街が格段にきれいになっていると実感します。
- ・ 熱田区は、「住みたくなるまち 訪れたいまち あったか熱田」をスローガンにまちづくりを進めており、金山駅周辺はその玄関口として、ますますエリアの重要性が注目されています。
- ・ 私たち保健環境委員は、地域の方と行政を結ぶパイプ役であり、推進力となる役割を担っています。これからも、公衆衛生の促進という側面から、地域の安心・安全で快適な生活環境を守り、熱田区の発展に貢献します。